

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2018年・秋冬号

vol. 349

季刊発行

日赤News

information

「糖尿病教室」のお知らせ

「腎臓病教室」のお知らせ

「赤十字講習会」のお知らせ

[特集]

脳卒中に“二刀流”で挑む!

脳血管障害の 外科治療

11/25開催 市民公開講座
「認知症の理解と家族の接し方」

ほっとニュース

検査部、輸血部が

「ISO15189」の認定を取得

写真は当院で働くスタッフが毎月出ます。

注目の
トピックス

今号のテーマ: **脳血管障害**

脳卒中に“二刀流”で挑む!

脳血管障害の外科治療

脳血管障害の治療において、従来からの「開頭手術」に加え、より侵襲性の少ない「血管内治療」の普及が広がっています。当院は県内でも数少ない、両方の治療を提供できる医療機関。“二刀流”のベテラン医師として、後進の育成にも力を注ぐ脳神経外科部長の天神先生にお話を伺います。

教えて
ドクター
Q & A

脳神経外科 部長
天神 博志 医師

京都市出身。医師となって38年、一貫して脳神経外科(脳血管障害)に従事。当院には一昨年より赴任。静岡市での生活は初めてだが「沼津に祖母の家があり、幼いころ海に行って遊んだ思い出があります」。

Q 突然起きる脳血管障害。予防はできないの?

A 脳血管障害は神経症状が起こるまで自覚がないため、ある日突然病気になったと感じる人が多いもの。しかし実際は喫煙や食事など、日々の生活習慣の中で危険因子が蓄積した結果として発症します。まずは禁煙、そして高血圧症をはじめとする生活習慣病対策を。脳梗塞やくも膜下出血は、脳ドックで病変を早期に発見することで発症前の治療が可能です。

Q 脳ドックって何?どんなことをするの?

A 脳ドックとは脳に生じる病気の検診のこと。小梗塞の検出に力を発揮するMRI検査、血管の詰まりや動脈瘤を捉えるMRA検査などを実施します。神経症状の出ない無症候性脳梗塞や多発性脳梗塞、また未破裂脳動脈瘤や脳動脈硬化などが確認でき、自分の脳の血管の状態や保有リスクを把握できます。脳ドックは健康保険適用外ですが、症状がわかれば保険での治療が可能。受診は3~5年に1回が目安。

Q 脳梗塞に似た症状が出たが、すぐ治ってしまった。心配はない?

A 半身のしびれや麻痺、めまいなど脳梗塞と似た神経症状が起きても、数分から数時間程度で収まることがあります。これは一時的に詰まりかけた血管がひきおこす「一過性脳虚血発作」という症状で、いわば脳梗塞の前兆。短時間で収まるためそれと気づかない人も多いのですが、注意が必要な状態。すぐ病院を受診してください。



突然前触れなく訪れる 脳血管障害の恐ろしさ

脳卒中とは、脳の血管に起こる様々な障害を指す言葉。脳卒中の「卒中」には元々「風に当たるといふ意味があります。昔中国では、悪い風に当たると病になる」と考えられていたそうで、「見何の前触れもなく発症する脳血管障害の様子をよく表しています。

脳血管障害は大きく脳梗塞、くも膜下出血、脳出血に分けられます。

脳梗塞は、脳の血管が狭くなったり詰まったりして血流が滞り、脳に酸素が届かなくなることで発症するもの。急に片側の手足や顔がしびれたり、バランスが取れずふらついたり、ろれつが回らなくなるなどの神経症状が起こります。

くも膜下出血は、脳の血管にできた脳動脈瘤という瘤(こぶ)が破裂し、くも膜下に出血が起こるもの。致死率も後遺障害の残る可能性も高い病気です。発症者は一人に一人と多くありませんが、原因となる脳動脈瘤を持つのは百人に一人と、案外身近な病気です。

脳出血は、何らかの理由で脳の血管が破れて出血し、血液の塊が脳に直接ダメージを与えたり圧迫したりして様々な障害を起こすもの。出血の場所や量によって症状や

程度は様々ですが、命に関わることもあります。



脳血管治療の2つの方法、 開頭手術と血管内治療

脳血管障害の治療には、頭部を開いて病変を治療する「開頭手術(直達手術)」と、太ももの付け根からカテーテルを入れ血管内で治療する「血管内治療」の2つがあります。

例えば、くも膜下出血を引き起こす脳動脈瘤の治療であれば、開頭手術では頭部を開いて瘤のくびれをクリップで閉鎖するクリッピング手術を行います。これに対し血管内手術では、血管に入れたカテーテルから動脈瘤にコイルを入れ、瘤の内側をコイルで詰めて塞ぐコイル塞栓術を行います。

また脳梗塞の原因となる頸部頸動脈狭窄の治療であれば、直達手術では頸動脈を切開して内部のプラークを取り除く内膜剥離術を行います。これに対し血管内手術では、頸動脈の狭くなった部位にステントという器具を入れ、壁に押しつけることで血管を拡張させます。



若手医師の指導にも熱心で、本年6月には県内唯一のクリッピング術モデルを用いた実技研修を実施。卒業後6～10年目の若手医師や後期研修医が参加した

より適切な治療を目指し 二刀流で強みを生かす

血管内治療は開頭手術と比べ低侵襲※ではありますが、低侵襲※低合併症リスクではありません。また血管内治療の操作性には限界があり、例えば先に挙げた脳動脈瘤でも瘤の大きさや形によってコイル塞栓術は適さない場合があります。

患者さんはそれぞれ病変の状態が異なり、年齢、病歴、体質、さらには生き方も異なります。一人一人に最も適した治療を行うには、開頭手術・血管内治療のどちらか一方では不十分。医師が両方の技術を持った「二刀流」であることが必要です。

静岡を含む東日本では、血管内治療の普及がまだ進んでいません。地域の中核病院としてすべての患者さんに対し最善の治療を提供するために、血管内治療の更なる普及が求められると考えます。

※低侵襲：傷口が小さい、手術時間が短いなど、患者への負担が少ないこと。

表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

臨床検査技師(左から)
神尾成美さん 高橋誠吾さん



今春県外の学校を卒業、当院で臨床検査技師として第一歩を踏み出した神尾さんと高橋さん。現在検査部にて検体検査全般を担当、夏から夜勤も始まり忙しい毎日ですが「ようやく戦力になれたという気持ち、うれし！」と声を揃えます。目標を尋ねると「どの検査も迅速・確実に行えるオールラウンダーを目指したい」(高橋さん)「血液検査のスペシャリストになりたい」(神尾さん)と頼もしい返事が。撮影中も笑顔が絶えない元気いっぱい二人でした。

▶ INFORMATION

市民公開講座(受講無料) 「認知症の理解と家族の接し方」

日時:11/25(日) 10:30~12:00
会場:当院2号館4階 第1会議室
講師:小西高志(第3神経内科部長)
森藤あゆみ(認知症看護認定看護師)

認知症に関する基本知識、予防法、認知症を持つ人との接し方や、入院となった場合どうしたらよいかについて学びます。認知症に関心のある方、ご家族に認知症患者がいる方、どなたでもご参加ください。

申込み/問合せ:TEL.054-254-4311(代)
(平日8:30~17:00)

＋ 静岡赤十字病院の理念

私たちは「人道」「博愛」の赤十字精神ののっとり、安心して身を任せることができる医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
2. 私たちは、良質で、より高度な急性期医療を提供します。
3. 私たちは、常に危機管理の意識を持って行動し、患者さんの安全を確保します。
4. 私たちは、地域の中核病院として医療連携を重視し、診療所の医師と協力して、患者さんの健康維持に努めます。
5. 私たちは、心身の健康を維持するとともに、医療技術向上に努めます。
6. 私たちは、健全な病院経営を目指します。

患者さんの権利

1. あなたの基本的な人権は守られます。
2. あなたのプライバシー（個人情報）は守られます。
3. あなたは適切で十分な医療の説明を受けることができます。
4. あなたは医療行為を選択することができます。
5. あなたは最善で安全な医療を受けることができます。
6. あなたは医療上の情報を知ることができます。

患者さんに守っていただきたいこと

1. 適切な診療を受けるため、心身の状態や自覚される症状について、正確な情報をお伝えください。
2. 診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示に従ってください。
3. 診療で納得できないときは、どんなことでも質問するようにしてください。
4. 病院内では法律および病院の規則をお守りください。
5. 医療費の支払い請求を受けたときには、速やかにお支払いください。

＋ 静岡赤十字病院 臨床倫理方針

私たち静岡赤十字病院の職員は、医療を受ける人々の尊厳、人権に十分配慮し、医療の進歩に貢献します。

1. 患者さんの基本的人権を守ります。
2. 患者さんのプライバシー（個人情報）を守ります。
3. 患者さんに適切で十分な医療の説明をします。
4. 患者さんの自己決定権を尊重します。
5. 患者さんに最善で安全な医療を提供します。
6. 患者さんに医療上の情報を提供します。
7. 「臨床研究に関する倫理指針」を守ります。
8. 倫理委員会で、医療倫理あるいは生命倫理上の諸事項について審議を行い、治療方針を決定します。

＋ 静岡赤十字病院 職業倫理方針

私たち静岡赤十字病院の職員は、医療に携わる職業人として「人道」「博愛」の赤十字精神ののっとり、安心して身を任せることができる病院として、人の命、人としての尊厳及び権利を尊重し、人と地域社会に貢献します。

1. 私たちは、良質で、より高度な急性期医療を提供するために、知識と技術の習得に努めます。
2. 私たちは、職業人としての職務と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように努めます。
3. 私たちは、患者さんすべてに対し平等に医療を提供するとともに、人格を尊重し、信頼を得るように努めます。
4. 私たちは、医療の公共性を重んじ、医療を通じて地域社会の発展に努めます。
5. 私たちは、互いに尊敬し、協力して医療を行います。
6. 私たちは、患者さんのプライバシーを尊重し、職務上の守秘義務を遵守します。

INFORMATION インフォメーション

「糖尿病教室」のお知らせ 15:00～

糖尿病について(糖尿病専門医・村上医師)… 10/5(金) 11/1(木) 12/7(金)
※やむを得ない都合等により中止となる場合がありますのでご了承ください(電話でお問い合わせください)

検査・運動について(臨床検査技師・理学療法士)
… 10/12(金) 11/9(金) 12/14(金)

食事・薬について(管理栄養士・薬剤師)… 10/19(金) 11/16(金) 12/21(金)

網膜症・日常生活について(視能訓練士・看護師)
… 10/26(金) 11/30(金) 12/28(金)

糖尿病教室食事会 11:30～ … 10/17(水) 11/21(水) 12/19(水)

申し込み・お問い合わせは、2号館栄養課まで
TEL.054-254-4311(代) / 内線3103 当院に受診されている方が対象となります。

「腎臓病教室」のお知らせ 15:00～

腎臓病の食事について … 10/23(火)

場所:2号館4階 第1会議室 これから病気が気になる方もご家族の健康に不安をお持ちの方もどなたでも無料で受講できます。直接会場へお越しください。

「赤十字講習会」のお知らせ

健康生活支援講習 支援員養成講習
… 10/9(火) 10/10(水) 10/11(木) 10:00～15:00

健康に年を重ねていくための知識や高齢者への理解を深め、家族や地域の人々に対する自立支援を学びます

地域で支える認知症講習 … 11/20(火) 13:30～15:00
認知症について正しく理解し、認知症の人々やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう

日本赤十字社静岡県支部ホームページからお申し込みください。



検査部、輸血部が「ISO15189」の認定を取得

「ISO15189」とは、臨床検査室の高い技術水準を維持して検査結果の信頼性を確保し、加えて安心して安全な医療サービスの向上を図ることを目的とした臨床検査室の品質保証のための国際規格。当院では2017年よりあらゆる業務手順の文書化や記録の管理、5S(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)の徹底、機材のリスト化、精度管理の運用見直しなどを行い、国際基準に則って臨床検査を実施。2018年4月に行われた公益財団法人日本適合性認定協会による詳細な実地審査の結果、当院検査部はこれらの要件を満たすものとして認められました。

県内では4番目となる今回の認定。これからも検査部一同が一丸となり、よりいっそうの努力を続けて参ります。

